



# 梅田通信

日野市議会議員 梅田俊幸 後援会 梅田通信

No. 29  
平成26年  
8月28日発行

2014. August

UMEDA TOSHIYUKI'S NEWS

## 市政報告

### 残暑お見舞い申し上げます

今夏は、梅雨明け以降猛暑が続き、台風も次から次へと襲来があり、全国各地で豪雨災害があります。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。特に20日に起こった広島市の大規模土砂災害では多くの犠牲者が発生している模様で心よりお悔み、お見舞い申し上げます。

平成26年度第二回定例会は、6月2日から18日まで開催されました。市長提出議案7議案、補正予算約2億4千4百万円（社会保障・税番号制度6千万、風疹対抗検査1千万、雪害対策7千5百万、外国語・オリンピック教育4百70万など）防災無線デジタル化、ごみ処理広域化について、マイナンバー制度運用、自転車駐輪場の指定管理者の公募等についての報告がありました。また、私は6月5日に一般質問を行いました。（質問要旨は次頁以降に掲載）  
政治情勢でも大きな変化がありました。

国会では、7月1日に従来の憲法解釈を変更し、限定的に集団的自衛権の行使を容認することを閣議決定し、同14日衆議院予算委員会、15日参議院予算委員会において集中審議が行われました。

今後とも関連法の改正審議においてもしっかりと議論して頂き、国家の第一の基本である安

全保障政策をしっかりと制定して頂きたいと思っています。

翌8月5、6日付朝刊で朝日新聞は慰安婦問題めぐり報道で誤りがあったと一部報道の取り消しを行いました。私もこの問題を報道当初から関心があり様々な情報を得ていますが今回、取り消しを行った部分は以前から間違いを指摘されており、論破されていたことです。朝日新聞の報道姿勢については大きな不信感を感じます。

産経新聞16日付朝刊には自民党本部で15日に開催された議員連盟「日本の前途と歴史教育を考える議員の会」の会合においての櫻井よしこ氏の講演要旨が掲載されています。それは、朝日新聞への釈明、謝罪要求と廃刊、そして自民党へも当時の河野洋平官房長官談話の見直しです。当時の政府、自民党としての対応の失敗があったことは自明になった訳ですから政権政党として国民にしっかりとした情報公開をすべきと思います。間違いが分かった時点で正さなければ朝日新聞の報道倫理姿勢を非難出来ないと思います。今後の取り組みに期待したいと思います。

平成26年 月見月